



《発行所》
若葉台
第一住宅管理組合
坂戸市千代田4丁目7番30号
電話 049-283-7950
メール:kanri@wakaba1.com
http://www.wakaba1.com/



―第34回通常総会から2カ月が経過したので今年の総会の感想はいかがでしたか。

●大規模修繕が2年におたり続いて皆さんにもいろいろご協力いただきました。駐輪場は竣工までもう少し掛かりますが、無事終わって良かったと思っております。今回の総会では、普通議決に加え特別議決を提起していただきましたが、すべて承認いただきました。個別の課題はありますが、大きい工事は、大体ケリがついたと言えます。今年がガス管工事として各棟の飛び込み部分の交換、後は各棟に通じる電気幹線の取替えをそろそろ期的にはやらなくてはと思っております。これらは中長期営繕計画の中に入っています。これらが終わると設備関係など大きい工事はなくなりません。鉄部の塗装(5〜6年)、外壁の塗装(12年)は年数で

行われていきます。―地震対策についてお伺いします。当団地は火災保険は加入しておりますが、地震保険には加入しないのですか。●入っております。―地震により建物にヒビ割れ等生じた場合金額の問題が発生します。保険加入していたらと思うのですが。●地震保険は保険料が非常に高いので、保険費用対効果を考えた際、いらないのではないかとという計算です。―一部崩壊が生じた場合建て直す問題が出てきます。その点はどうなのでしょう。●破壊の程度にもよりますが、建て直しを保険でしますと最高でも半分しかでません。保険料も相当高いので、建て直すときに考えた方が良いでしょう。

総会が終わり、今年度はすでに始まっています

加藤理事長インタビュー

はなれないかと思いません。―建て直す場合、各自の負担金額が生じてきますが、その時どのように考えていますか。●建て直しの際には管理組合も無くなりますから新しく作り直します。自転車置場工事で良くわか

ったのですが、一部分(一棟)の建て直しは出来ません。耐火建築物ですの

で、実際に火災になった場合4分の1なり6分の1ぐらいでしょう。保険からは共用部分のみが該当し、各戸内部はそれぞれの家庭でお願いします。その条件で半分だけの費用で加入しています。全部入ると大きな金額になると思います。

―地震保険ですとどのくらいの金額になるのですか。●今の倍以上になると思っています。今は半分の金額の保険ですから、地震保

は備蓄倉庫を建てているようです。規模にもよると思いますが、2000人以上の備品をどこに置かか・・・?。各家庭で備えていただければと思います。備蓄倉庫を作った、今申し上げたように2000人分は出来ませぬし、例えば500人分だどどのように配分するか考えなければなりません。3日分と言いますが各家庭で備えていただければと思います。阪神大震災の時は当団地と同じ建物は、一般マンション



険ですと半分の半分4分の1の補償になるので、建替えは無理です。例えば100%にすると同様に400万円以上を毎年払うこととなります。地震はいつ起こるか予測できません。それならば管理組合でお金をプールしておいた方がいいのではないかと思いません。

―地震時水の確保はされていますが、備品の蓄えはしないのですか。●2000人以上いますので備品をどこに置かかという問題がでてきます。日商岩井マンションさん

より強く出来ていて残っていたということですが、各棟の構造は違いますが、構造自体は心配していません。この地域は埼玉県の防災センターで坂戸地域の断層を見ると、5強ぐらいまで収まると見られています。―電気工事のことでお聞きしたいのですが、当団地は30Aを上限としていますが、40Aにする工事はしないのでしょうか。●東京電力から各棟に入っている電線、電気幹線というのですが、これを太くしないとアップ出来

文字摺草

退職してから大分たつた。健康な時にはアルバイト等もしていたが、数年前に健康を害してからはやることがなくなり家庭菜園のみで時間を過ごすようになった。とはいっても、畑は休耕地を借りてやっております。健康が万全ではないので、気楽にやっていると放っておくと雑草だらけになってしまう。雑草の成長が早いので、行かすにはおれなくなる。時期を考慮して何を植えるか、どの野菜を蒔くかと考えるのも楽しい事だ。天候や害虫の影響でうまくいくとは限らない。農業の大変なことが良く理解できるようになった。しかし、うまくいって収穫出来た時には嬉しくなる。新鮮な野菜が何時でも食べられるからだ。特に採りたてのさやいんげんや、とうもろこし、枝豆などは最高だ。有機肥料、無農薬栽培等に気配りしながらやっているが、どうも坂戸市は雨量が少ないように思う。折角育てた野菜が水不足で枯れないようにと心配りの日々がある。(松)

一面上段へ続く

ません。現在各棟の余裕はありません。最初に言いましたように幹線を大きくする工事が必要となります。

■工事予定があるようでしたら早めに出来ませるか。

●中長期営繕計画で計画されています。今回の工事費用の精算が終わって残高がいくらになるか見極め、早められたらと考えています。

■当団地も高齢化になりつつあり、一人暮らしの方も増えてきています。民生委員の方もいると思いますが、組合の方も取り組み方とかがあります。

●ぶらりと参加出来るものを作りたいと考えています。二つあった徒渉池ですが一つを多目的広場に出来ないかと考えています。旧バレーコートと石の広場の三つを、徒渉池の開発と合わせて考えて下さいと修繕委員会には提案しています。

■元気な方ですと散歩も出来ますが、外に出ることが出来ない方もいらっしゃるのです。私たちがボランティア活動が出来ないものかと思っ

●今のところ棟長さん、民生委員さんもいます。散歩出来る方にはいろいろ出来る広場も考えています。いろいろな部、サークル参加、行事(夏祭り、映画会、コンサート等)に参加していただきたいのです。お金のかかるものもあります。してほしい行事を言っていただけではやりやすいです。

■皆さんに集まってもらうために新聞にお知らせの欄を設ける等してはどうでしょうか。広報の役割もあるのですが、参加する方はいつも来ていただけです。関心のある方は今度は何時するんですかと声をかけてもくれます。より多くの方に参加してほしいのですが、どう声をかけるかですね。

■手抜き除草の日、毎回出て来られた方が欠席されても、どうしたのかと思うだけで終わってしまいがちですが、何か手立てはあるでしょうか。

●棟長さんは棟の住人のことがわかると思うので、出欠のみではなく意識的に棟の人たちの様子を知らずというのが大事なかなと思うのです。管理組合・

自治会でどうこうするよりも棟で情報を得て何とかやってもらいたいと思っています。

■棟長会議等でそのようなことをいつていただけませんか。

●今までは棟長一人でした。今年から階段委員も1年となりまして、各階段ごとに階

段委員が気を配るなど棟長さんをバックアップすることもお願いしたいです。今回1年としたのもそんな事を考えています。棟長さんと同じ任期にしたという事はまだ始まったばかりなのでこれからにかかっています。■ありがとうございます。

緑の環境管理 今年の課題 植栽部 吉澤 豊

緑に恵まれたこの団地も住み始めてから35年になり、私達の誇れる緑の環境も少しずつ変わっています。環境条件に恵まれシンボルツリーになるような大きく育った立派な桜や楠や樺が多く育ちました。反面病害虫等で枯れた木々や日陰で絶えてしまった芝生等もあります。そしてこの度の

段委員が必要で、大規模修繕工事で傷ついた多くの棟のベランダ下低木類の補植と共に27号棟ベランダ下では全滅状態の沈丁花に変わる低木の補植を今年度中に予定しています。

▽樹木の剪定や刈り込みは植栽協力会の皆様力で進めています。この一年は駐輪場工事に伴う樹木の伐採や移植に追われました。繁茂した樹木類の定期的な剪定が出来ないものが多くありますので植栽協力会の活動日を秋口より増やして対応したいと考えています。

▽今年度の課題の一つとして「草花のある散策の道」作りをしたいと思います。現状は構想段階にあります。3号棟北のプリン広場から14号棟西側に繋がる生垣が多く、この通路側帯を前面改修し、季節の草花と涼しい低木で構成した「草花のある安らぎの散策の道」を目指します。草花や樹木の構成、毎年、の維持管理の体制、予算等を見えるように出来ればと考えています。

▽今年度の課題
▽まず駐輪場周りの樹木や芝生の再生が必要と考えています。特に17号棟18号棟19号棟周りでは枯死した低木類の再生を含めて親しみの持てる樹木の補植を予定しています。

●雨決行
●場所 テニスコート
●8月24日(土)11:00~20:00

当団地最大のイベント!!

第35回 夏祭り



若葉台団地

●雨天決行
●場所 テニスコート
●8月24日(土)11:00~20:00

夏休み最後の日、徒渉池の周りで花火大会を行ったのが現在の夏祭りのきっかけになったと言います。今では当団地の最大イベントです。催し物は太鼓演奏など10団体が参加、有志・サークル・直営店では焼き鳥やトウモロコシ、テニスクラブの焼きそばなど模擬店が並びます。キッズコーナーは人気の射的や輪投げもあります。皆が参加できるお楽しみ抽選は昨年の倍の当たり券が準備されています。大人も子どもと一緒に楽しめます。どうぞご参加ください。

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

二回目の規約委員会 委員長を任されて

前規約委員長 佐藤 健次

5月に開かれた第34回総会で管理組規約や細則等の改正案が無事承認されました。特に規約の改正には組合員（及び議決権）の3/4以上の賛成が必要です。が、今回は800人を超す大勢の組合員の皆さんに賛否表決に参加協力を頂き、また、理事会並びに規約委員会での改正案検討から議案書完了までの地味？地道？な準備作業と相まって規約改正が無事に終了しました。多くの皆様のご協力を深く感謝申し上げます。

さて、次に、本来は規約改正の中身等をお話すべきところですが、規約や細則については既に総会議案書や広報わかば第149号で触れられており、また、今回改正された各規程は（今年発行予定の）『暮らしのルール』に掲載予定です。そこで、改正の中身はそちらに譲ることとし、以下、私と規約委員会との関わりや感想など述べさせていただきます。

とになりました。ちなみに、この管理規約の全面改正はかなり大変な作業でした。委員4、5名で、各章ごとに担当を決めて文案作成やチェックを行い、さらに全章通しの見直しを、休日に出社し会議室テーブルに全資料を広げ赤鉛筆片手に5、6時間かけて行いました。終わると目はショボショボで、頭の中は条文がぐるぐる回り続けるような状態でした。が、今、振り返ると、大変でもありましたが面白い良い経験だったと思います。

理事になって知ったこと

渡辺 園子(前コミニティ部)

ある日、突然当時の棟長さんから「来年理事の番なのでお願いします。」と言われて、思いがけない話にびっくりして声も出なかつたというのが本音でした。何とか逃げられないだろうかと思いつつ「考えさせて下さい」と答えたものの、管理事務所へ行くのも年に数えるほどと積極的な関わりがない身にとって「困った」が正直なところでした。

楽しく参加できました

齋藤 紀子(前植栽部)

管理組合の理事を5月で終えて改めて理事会議案、議事録をはじめ芝刈り・手抜き除草の手引書まで全部の配付書類を出してみました。それは高さ14センチ近くになりました。その量の多さに驚き内容に感服しました。この団地ができて34年の経験、社会状況の移り変わりや入居者の変化に応じて改善を重ね現在の仕組みが出来上がったのでしよう。理事会その他の集会では、慣れない為起こしがちな失敗等を防ぐために緻密で生き届いた説明がなされ、良く理解出来ました。私の主な仕事は、ひる食時の汁

物とサラダ等副采を用意することです。植栽部の活動は原則として土曜2回と水曜2回の月4回ですが、植物が相手ですので季節により増減があり、食事を作ったのは50回でした。人数は、土曜は23名位で水曜は15名位です。メニューは個人の経験だけでは限りがありますが、参考にして季節感のある物、味と栄養のバランス、時間内に出来る範囲でと考えましたが、正午に間に合わせるのに毎回緊張しました。前任の若生さん、横田さんと協力員の木内さんに日変わりで助けていただきありがとうございました。フリーマーケットでは、準備の話し合いの中で背中を押された格好で、私も友人と出店しましたが、絶対売れるだろうと思っていたものが売れず、売れないと目立たない隅に並べた物が売れたり二度とない経験をしました。管理事務所で見えていたコ

ンサートですが、集会室という条件下で、最高とされる出演者に恵まれ、広いホールでのコンサートとは異なった楽しさを体験しました。まだ参加されてない方にお勧めします。この他にも、当団地のライフラインの受水槽や変電所を案内して頂き状況を自分なりに理解したことは良かったと思います。震災の後の計画停電の時はかなり不安だったものですが、1年を通じて「大変ですが、深く考えることもなかつた便利な生活が、代々の役員の方々に支えられていることを実感しました。



平成25年度役員

一年間よろしくお願ひします

広報部			財務部	総務部		副理事長		理事長
 松島庸公 8-204	 副部長 藤村寿子 4-102	 部長 佐藤公子 17-502	 部長 佐藤浩 19-601	 副部長 大野早百合 2-501	 部長 横田光朗 3-203	 松本 昭 15-301	 富田 要 2-203	 加藤一雄 9-205
植栽部				施設管理部				
 大和定幸 16-304	 吉田京子 11-202	 副部長 畠山晴男 14-202	 部長 吉澤豊 29-1102	 大澤 覚 26-104	 本堂正男 25-103	 吉沢智幸 17-601	 副部長 瀬尾武男 28-1403	 部長 安藤征四郎 17-406
監事		委員会部						植栽部
 芦田武男 28-1104	 東野行夫 21-103	 高野一男 29-301	 今坂祐輔 23-305	 名和奈津子 17-105	 河合セエ子 1-303	 副部長 宮沢洋一 28-601	 部長 長澤常憲 34-102	 木村芳子 22-504

お願いのコーナーです 投稿

本離れが話題になってもう久しく経ちます。でも本が身近にあるかないかで随分違うような気がします。子どもたちが通う南小学校には図書室も完備され、読書会や朗読会なども行われ学校としての努力はあります。それでも何故か、子ども達は読みたい本が少ないというのです。すべての子ども達に読みたい本を読ませたい、さらに子ども達に読書の楽しみや喜びを知ってもらいたいと思うのが親心です。希望どおりに新刊図書が揃えきれない予算事情もあり悩めるところです。読みたい本が無いと言うのは不幸な事です。子ども達の親として何とかしたいと団地の皆さんにお願いすることにしました。家の中に眠っている不用な本や、子ども達に読ませたい本などありましたら、是非ご寄付願ひたいのです。子ども達にふさわしい本の選択は先生の力を借りますが、一部小説については先生が選び坂戸中学校に寄付しています。それ以外の本についてはお金にして本の購入に充てますので、ご協力をお願いしたところです。

本の集荷
 場所 若葉台第一住宅
 管理事務所
 とき 毎週火・木曜日
 連絡 管理事務所 049-283-7950
 17号棟・名和 090-9835-3128

ひととき心は 浄化された



詩の朗読会

6月29日(土)の午後、集會室で詩の朗読会が行われた。朗読者は詩人でもある峰岸了子さん。友人の山田幸子さんと幼稚園から同級生だった遊佐マスキさんのお二人の強

から16編を選ばれた。最後は「かあさん」という作品は圧巻だ。認知症を病んで他界したお義母さんへの鎮魂歌だろうか。言葉の中に綴られる一言ひと

今号は総会が終わって初めての号なので役員紹介をした。不用と言われたことがあるがここ数年続いている。広報部も新メンバーでのスタートだ。(佐藤)

い思いから企画されたものだ。準備した35席は満席となっていた。朗読会は、「どこかにそんな街が」雨があがるまえの空の明るさが好きだ、みるまに厚い雲が切れと静かに始まった。峰岸さんは日本現代詩人会・日本詩人クラブの会員でもある。高校生の時から詩を書き始め、詩集も数多く出版されているが、言葉にこだわりギャラリイなどで自作詩を読むという活動もしている。この日はごく最近の作品から16編を選ばれた。最後は「かあさん」という作品は圧巻だ。認知症を病んで他界したお義母さんへの鎮魂歌だろうか。言葉の中に綴られる一言ひと

ことは、病んでいるお義母さんとの会話の最中に聞いた言葉の数々、心情の吐露とも思える言葉、混濁の意識空間で生きる人に導かれ答えを探し求めて書いたと言う。生きることの神秘というか、愛するものへの奥行き、深さに圧倒される。25章と物語になっているが、詩の重なりで書ける詩のよう気がした。いい詩には「ひとの心を解き放ち、生きとし生けるものへのいとのおしみの感情をやさしく誘いだしてくる力がある」と何かで読んだことがある。このひととき、演劇、音楽、美術などに会った時とは違った、心の浄化をされたのではないだろうか。(佐藤公子)

6月14日浅羽ピオトープに蛍を観に行った。蛍が飛ばなくなったのは何時頃からだっだろうか。この日は幻想的とまではいかなかったが、暗くなるにつれ一匹二匹と光の量が増えていく。子どもの頃見た光より大きく見える。ゲンジボタルのこと。子どもの頃飛んでいた蛍は、ヘイケボタルなの？。何十年も忘れていた光景に出会うことが出来た。

編集後記